

ここが知りたい、これが言いたい、これは知って欲しい

議員さんから子供たちまで
みんなで語ろう
タウンミーティング

「半世紀を迎えた世田谷区民会館 + 区役所庁舎」Part4

2009.7.4 (Sat)

世田谷区民会館集会室

18:30開始 入場無料

皆さんがいつも利用されている世田谷区民会館や世田谷区庁舎(第1、第2庁舎)、その設計者や建築についてご存知ですか？

設計者は前川國男。その作品が世界遺産登録にノミネートされている近代建築の巨匠ル・コルビュジェに学び、日本近代建築のパイオニアとして知られる著名建築家です。

建物は、親しみやすいスケールの中庭、低層で威圧感を感じさせない建築群、子供たちの集う水場など、民主主義を形として表現したといわれ、自然換気や自然採光による省エネ効果の高い、庁舎建築の傑作として評価されている建築物で、世田谷区民が所有する、文化財に登録できる貴重な公共建築資産なのです。

今、世田谷区では、この庁舎の建て替えを前提とした新庁舎の検討を進めています。

その骨子は、区役所機能の集中化と高層化で、現庁舎および区民会館の全面建替えです。これにより私たちの貴重な公共建築資産、景観、街の記憶が失われようとしています。

私たち、(社)日本建築家協会(JIA)世田谷地域会では、昨年来3回のシンポジウムを開催し、この問題について考えてきました。

シンポジウムを通して私たちは、この公共建築資産の重要性を再認識し、大切に使い続けてゆくことの意義を知り、「これからの街づくり」のありかたについて学ぶことができました。

街にはそれぞれの景観があります、文化があります、歴史があります。それらは一日にして出来たものではありません。私たちの街もまた、長い時間をかけて育まれ、成熟し、記憶されていて欲しいものです。

JIA世田谷地域会では、こうした街づくり(リセットではなく積み重ねてゆく街づくり)をめざし、区民会館と区庁舎の保存再生案を提案しています。

機能性や構造強度の向上、事業費の抑制、環境負荷縮小への配慮、街の記憶の継承などをベースとした、「これからの街づくり」への提案です。

今回、タウンミーティングでは、その提案模型と図面を囲んで、この問題についてのこれまでの経緯と現況報告をし、皆さまと意見交換を行いたいと思います。

区民の皆さん、議員の皆さん、区職員の皆さん、街づくりに興味をお持ちの皆さん、ぜひご参加下さい。

詳しくは JIA 世田谷地域会 HP : <http://www.jia-setagaya.com/> をご覧下さい。

主催：(社)日本建築家協会(JIA)関東甲信越支部世田谷地域会

連絡先：世田谷地域会事務局(有)黒木実建築研究室 TEL03-3439-4190 FAX03-3439-4726